



追力満点だった水中スターメイン

久しぶりの花火
とうでしたか……

夏の一夜を満喫

心配された台風は当局スタッフの熱意に北方に追われ、素早い準備に花火は予定通りの開会を報じ、我等を呼ぶ。我が家は幸い絶好の位置と八十五・四歳の老親夫婦を迎え総勢二十五名余り、二階の窓ガラスをはずし、特設「ワイドスクリーン」に小宴席を

はさみスタンバイ。7時から始まった一大ページェントは、歓喜躍動の中に2時間、時折我々を膳の前に在るを忘れさせた。「筆舌に盡しく難し」とはこのような時と思わせた。夜空に画かれる雄大且つ微妙な展開は実に素晴らしく、命がけのアーティストへの絶大な拍手が我々にも聞こえ、ここにも男の生き場所を垣間

みた。

主催者後援者スタッフの皆様へ感謝し、横芝町民たる幸せを感じ、この大会が来年も催され町民が若人が故郷に平和な夢を抱く恒例の「イベント」となり、横芝町が大きく発展することを祈りながら真夏の夜の夢の眠りにつく。

古川 桑名大行



カラー写真でないのが残念